

平成29年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進

<p><b>1 一人一人の児童生徒の尊重</b></p>	<p><b>2 友達への思いやり</b></p>	<p><b>3 道徳・心の教育の充実</b></p>
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>○一人一人の生徒の尊重については、昨年度と比べ4と3の割合は保護者は85パーセントとほぼ変わらなかったが、生徒は77%から91%と前年比(Δ14%)も上昇していた。三者の受け止め方には違いがあるものの本校職員が生徒を大切にしている姿勢が受け止めているのは確かである。ただ、保護者の受け止めは昨年度と変わらないことから、学校行事への呼びかけや広報活動、PTAとの連携に課題があり工夫の余地がみられる。この課題は、道徳・心の教育の充実の観点にも整合性があり、職員と保護者の受け止めに若干の開きがある。今年度を受けた道徳教育授業研究の成果を来年度につなげ、生徒のよさを対外的によりアピールしたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<p><b>4 意欲的な学習態度</b></p>	<p><b>5 授業力向上</b></p>	<p><b>6 ICT活用</b></p>
<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>○授業作りの工夫に関して、生徒の「3」「4」の割合が85%で前年比(Δ13%)の上昇であった。その影響からか、意欲的な学習態度に関しても生徒の「3」「4」の割合が91%となり、前年比(Δ6%)の上昇であった。各学年で実施している「やればできるテスト」の継続や学習の約束の徹底が成果につながっていると考えられる。しかし、「2」「1」をつけた生徒が14%もいることから勉強が「わからない」「楽しくない」という子どもが存在するという点を謙虚に受け止めなければならない。加えて、ICT機器を使用した授業作りに関してのも否定的な割合が保護者、生徒とも多く職員との評価に開きがあることも新たな課題である。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

**7 健康づくり**

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

健康づくりに関しては、概ね健康な生活を送っている。しかし、基本的な生活習慣が定着していない割合が保護者回答で約20%を超えたことから、健康教育の充実と運動促進プロジェクトの活用が課題が残る。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

**8 児童生徒理解**

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

**9 いじめや問題への対応**

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

②特別支援教育の推進

**10 学校の支援体制**

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

昨年度は、生徒理解といじめ問題への対応については、三者の回答に大きな開きがあった。しかし、今年度は、「4」・「3」と回答した生徒の割合は85%と91%で前年比(生徒理解Δ17%) (いじめ対応Δ16%)と上昇している。特に、いじめの対応については日頃より丁寧かつ迅速な対応と保護者へのきめ細やかな説明と継続的な家庭訪問に起因すると考えられる。しかし、「2」「1」と回答した生徒の割合と保護者の割合が7%とほぼ一致しており、いじめの対応に未だ不満を持つ家があることも肝に銘じなければならない。学校の支援体制については、学校の取組を各種たより、ホームページ等で発信し、理解を得る必要があると思われる。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

**11 安全と事故防止**

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

三者の回答に開きはないが、「2」で回答した割合が三者とも5%見られる。生徒指導の一環として継続的に行っている帰宅指導を全職員習慣化し、生徒の事故防止と交通マナーも啓発して行きたい。

②最適な学習環境の整備

**12 施設・設備の安全管理**

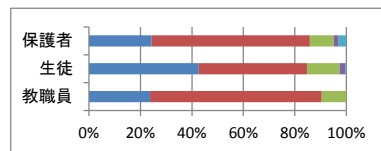
学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

保護者との安全に関する情報を交換しながら安全管理に取り組んでいるが、発信する機会が少ないので安全管理の取組は保護者に分かりづらいと思われる。PTA総会や懇談会を通して理解を得られるようにしたい。

### ③家庭・地域社会との連携強化

#### 13 教育方針・目標の理解

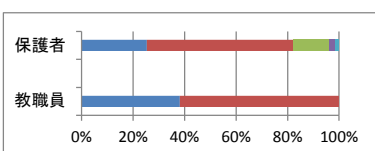
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



教育方針や目標の理解については、概ね良好であるが、「1」と回答した生徒、保護者が生徒1%、保護者2%もいた。前年は生徒3%、保護者は同数であった。生徒集会や校長講話で分かりやすく説明してはいるものの、「2」と回答した割合も約10%も見られることから決して十分とは言えない。今後は、業績評価の期首面談で職員の目標と学校経営目標に整合性を持たせ、全職員が常に意識して行くことを目標とする。

#### 14 家庭や地域との連携協力

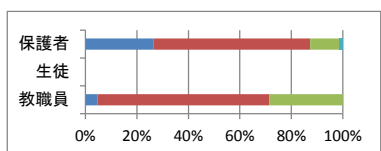
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



### ⑧本校の教育

#### 15

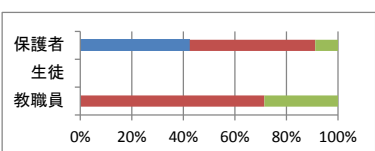
d子どもは、地域の皆様にあいさつができていますか。



本校の教育活動の中で特に、「あいさつ」「マナー」面には力を入れている。しかし、保護者と教職員の回答に大きな開きがあり、あいさつで「2」と回答した割合は教職員30%に対し保護者13%。マナーに関しては教職員30%に対し保護者8%と到達目標に大きな差がある。集団と家族の評価環境の違いは否めないが、学校の情報が十分に発信されているのか。生徒の本来の姿を学校行事等で多くの保護者に見てもらえるのか。啓発の仕方や行事への呼びかけ等を考えれば、工夫改善の余地は大いにある。次年度は保護者の学校参加意欲を高めるため、行事や啓発活動に付加価値が付くよう努力したい。

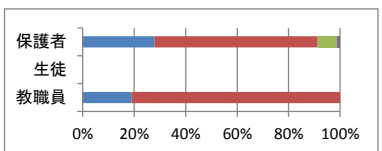
#### 16

d子どもは、校則や集団としてのマナーを守っていますか。



#### 17

d学校からの文書で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。数値全体の推移を見ても、学校に対して支持的な基盤はできている。
- 毎時間の授業の充実のための教材開発を続けていくとともに、学力充実と厳しい状況の子どもの生活習慣の確立など、個に応じた学習のさらなる徹底を図っていく。
- 学校の職員や生徒会だけではなく、PTAや地域の諸団体と連携しながら基本的な生活習慣のキャンペーンの実施などを通して、挨拶、マナーなどの規範意識を育てる指導の徹底を図る。
- 安全、食育、総合・教科学習の面から、保護者・地域との人材交流、情報の共有をさらに進め、地域に根ざした教育を充実させる。また、年2回行っている地域一斉清掃を地域住民とタイアップし、土曜授業の授業参観に組み込みながら前年度より充実を図る。
- 心身ともに健康な生活を送れるように、よりいっそうの工夫に努めたい。(生徒会活動と体力向上プロジェクトの拡大、充実)
- 熊本市学力検査を受けて、より生徒の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努めたい。全教科、全職員による学びノートの効果的な活用を行う。
- 体力向上として、年間指導計画を見直したり体力づくり月間を設けたりして子どもたちの体力向上に向けて取り組んだ。どの学年も全国の平均を上回る種目が多くなった。東京女子大との体力向上プロジェクトと連携し、持久力と走力、投力アップの工夫を図っていききたい。

### 学校関係者評価

- 公開授業や体育大会、文化学習発表会、合唱コンクール等の学校行事を通して、生徒たちが楽しく学校生活を送っていることがよく伝わってくる。学校教育目標では、保護者・児童・教職員ともに「3」「4」の割合が昨年度よりも確実に伸びており、学校の取り組みの成果が評価されていると言える。
- 教科指導等では、一人一人のニーズに応じた教育活動の工夫が見られた。11月の心かがやけ月間の道徳の公開授業参観でも先生方の工夫や努力が子どもたちの力を伸ばしていることが実感できた。
- 生徒指導・教育相談では、あいさつの励行や規範意識の醸成を図ってきているが、さまざまな事情を抱えている子どもがおり、細やかな配慮をしながらすべての子どもたちが心豊かに育ってくれるようにしていきたい。
- 健康教育・安全では昨年度の体力向上推進の取り組みが生きていたので、今後の子どもたちの活動につなげてほしい。特に、部活動が活性化し、健康的な活動の姿が見られるようになった。防犯・交通安全については学校安全対策協議会や南警察署のネットワーク会議を活性化し、地域と一体になり進めていきたい。
- 家庭・地域との連携は子どもたちの成長を願い学校を中心としていっそうの連携協力をしていってほしい。